



夏季号

令和 3 年 7 月発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 TEL (代表) 03-3334-2101
<https://www.yokufuukai.or.jp/>
 【編集者】浴風会本部事務局
 浅井 敏男
 【印刷所】株式会社サイド・ビー

理事長就任にあたって

理事長 寺尾 徹



2011年7月に厚生労働省を退官し、翌2012年4月に浴風園長・常務理事に就任し2014年3月までの2年間浴風会に勤務させていただきました。2014年5月から全国社会福祉協議会の常務理事として2020年7月までの6年間社会福祉施設の全国団体の事務局運営や社会福祉協議会の業務に当たって参りました。

この度、6月29日付で浴風会の理事長を務めることとなりました。伝統と歴史のある浴風会がこれからの時代の要請に的確にこたえながら継続的に、また、安定的な運営を確保し続けることは大変責任の重いことと認識し、全身全霊をもってこれに当たる覚悟であります。当面取り組んで参ろうと考えておりますことが4つあります。

第二は、将来を担う人材の養成と育成であります。板山賢治先生(元当会理事長)が「上に立つものは若い人たちに将来の夢を語ること」だとしてよく仰っておられました。進むべき道を明確にしてそれをみんなが共有することで一体感をもって将来へ進んでいけることだと理解しております。

第三は、地域の住民や関係団体と一体となって、福祉の推進に取り組んでゆくことです。浴風会には沢山の専門知識を有する人材がいます。この力を地域の人たちとともに杉並区の福祉の推進のお手伝いをするのが浴風会の発展にとつてとても大切なことでもあります。

第四は、危機管理の徹底であります。浴風会における今回のコロナ感染症への対応はしっかりとしましたものでクラスターの発生を食い止めております。これまでも、いろんな感染症が蔓延し、その都度職員が一丸となって予防対策に取り組んでこられました。

当面この四点を課題として役員の方々と協議検討しながら、また、関係機関とも相談しながら具現化して参りたいと考えております。微力ではありますが、皆様方のご指導ご支援を切にお願いを申し上げます。



本館前の紫陽花

具体的には、診療報酬・介護報酬改定への的確な対応による財政の安定化。デジタル化への対応による運営の効率化も大切です。

第一は、役員が一体感をもって法人運営の安定と継続に取り組むこととあります。

具体的には、診療報酬・介護報酬改定への的確な対応による財政の安定化。デジタル化への対応による運営の効率化も大切です。

また、近い将来首都直下型地震の発生が危惧されております。万全の

環境を維持管理していくには剪定などの手入れが大切です。優秀な人材も専門性を向上させるための研修や人間を豊かにするための余暇も大切であります。浴風会のSDGS「持続可能な開発目標」を明確にし、共有して皆で奮励努力を致しますよう。どうぞよろしくお願い致します。

浴風園長に就任して

園長 小田島 明



七月一日付をもちまして、浴風園の園長を拝命しました。よろしくお願い申し上げます。

私はこれまで、認知症介護研究・研修東京センターで四年間、運営部長として勤務してまいりました。それ以前は、主に障害者福祉の仕事に四十年近く携わっておりまして。これまでの経験から、私の考えるご利用者の支援は「パーソンセンタード」であるべきというものです。

さて、関東大震災の被災者支援のために創設された浴風会の中にあつて、浴風園はその中核的施設として年月を重ねてきました。現在の浴風園も養護老人ホームとして、生活環境や経済的に課題のある高齢者の養護と社会復帰支援が目的であることは、創設当時の目的と同根であると言えます。

昨今、誰でもその人らしく「望む地域」で「望む生活」を継続することが求められ、これを支える社会作りが課題とされています。しかし反面、高齢者や障害者等の社会での「孤立化」が大きな問題となつてきています。私はこの課題に真摯に向かうべき立場にあるのが現在の浴風園であると思います。入所されているご利用者の日々の支援においても、チャンスがあれば、その人らしく地域で暮らしていただくことを基本とした支援を考えざるべきです。そのためには、地域の方々との連携による社会作りにも積極的に関わるべきです。これらの事柄を進めるには皆様のご支援が不可欠ですので、どうぞご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

認知症介護研究・研修東京センター 運営部長に就任して

運営部長 家田 康典



7月1日付けで、認知症介護研究・研修東京センターの運営部長を拝命いたしました家田康典と申します。昨年度まで、関東信越厚生局健康福祉課長として、厚生行政の現場において、厚生省と自治体・事業者との間を繋ぐ仕事をさせて頂いておりました。

今回、歴史と伝統があります社会福祉法人浴風会に採用して頂き、当法人の使命・役割等を十分に噛みしめて任にあたつていく所存です。また、東京センターにおいて、認知症の人の「その人らしき」を大切にするケアを目指して、少しでも貢献したいと思っております。

私のことを知って頂くため、これまでの経歴を紹介いたしますと、平成2年、埼玉県所沢市にありますが「国立身体障害者リハビリテーションセンター」に採用され、平成7年、本省へ異動しまして、主に障害福祉、生活保護、老人福祉などを経験しました。また、医療保険者への指導や社会保険庁の解体に伴う保険医療機関の指導部門の受け入れなど得難い経験もしました。また、公務員人生の1/3ぐらいは、災害救助や災害復旧・復興などに携わっておりました。特に、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、社会福祉施設の災害復旧事業や自治体に向向して震災復興などの実務にあたつておりました。

これから、東京センターにおいて、認知症ホジティブを目指す事業に関われるということで、非常に楽しみにしておりますが、老健局では老人福祉施設を担当した程度であり、認知症に関しては、ほとんど門外漢と言える状況です。

認知症介護の研究や研修において求められるレベルには到底及んでおりませんが、これから研鑽に努めて、ご迷惑かけないよう頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

浴風会病院参事に 就任にあたって

参事 平田 敏昭



初めまして、七月一日より浴風会病院にお世話になっております平田と申します。

私はこれまで国立病院の急性期や慢性期病院で総務や労務管理、建替や病院間の統合と経営・企画などに携わって参りました。今、新型コロナウイルスの影響で、日本を始め世界中が大混乱の時代となつており、入口での検温実施やマスク着用・手指消毒はどこのお店でも実施され、特に病院においては面会禁止や面会制限も行われております。このような状況下において、どこの病院も経営面ばかりではなく感染対策などを含めた運営面でも常に厳しい状況にあります。そのような状況においても、浴風会病院が地域に必要な役割を担っている病院であることとを色々な資料を拝見し、また、先般出席させていただいた評議員会及び理事会を通じて知りました。十五の施設を転動しながら得た経験を活かしてお役に立ちたいと考えております。

浴風会病院に初めて来た折り、すぐ近くの首都高高井戸インターは実家に帰る時など日常的に良く利用していましたが、その近隣にこれだけの広い敷地と緑の多い、とても良い環境の病院があったのだと驚いたことを憶えています。

超高齢化社会だからこそ求められる地域での連携に加え、感染症対策なども更に重要となる現在、今まで以上に患者さまの期待に応え、地域に信頼される病院運営ができますよう、浴風会病院の一員として、誠心誠意努力してまいります。何卒、よろしくお願い申し上げます。

令和二年度浴風会事業報告口概要

業務執行理事 小河 芳弘

浴風会は「地域と共に未来を拓く」をスローガンとして掲げ、杉並区等の高齢者を対象に、医療・介護・福祉に係るサービスを総合的に提供している。

今期は、新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延により、その予防対策の徹底を喫緊の課題として取り組んだ。利用者に対する手洗い・手指消毒の励行、外出の自粛、マスクの配布等を行うとともに、サーモカメラの整備、アクリル板・ビニールカーテン等を設置するなど、感染予防に全職員を挙げて取り組んだ。一方、昨年3月に策定した中期事業計画（令和2年度～6年度）を念頭におき、社会福祉法人制度改革の着実な推進、地域包括ケアの推進、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現などに取り組むほか、法人の持続的な成長を可能とするための安定的な経営基盤の構築に取り組んだ。

これらの取組みに当っては、業務執行理事等で構成する経営企画会議での審議や、法人本部組織（本部事務局、企画開発本部、事業本部、人材確保対策推進本部、地域公益活動推進本部）及び病院、特別養護老人ホーム等各事業部門の密接な連携をもって対処した。

第1 地域との協働と社会貢献

地域貢献活動については、従来より浴風会の各事業部門の経験や資源を活かし、地域とのネットワークなどを通

じて、様々な行事やイベントを実施してきたところであるが、今年度はコロナ禍により、当初計画していた活動の多くを自粛せざるを得ない状況となった。その一方で、浴風会病院においては、杉並区からの要請もあり、令和3年1月から回復期のコロナ感染患者を順次受け入れるとともに、同年4月からは杉並区の先陣を切って高齢者（利用者）に対するワクチン接種を開始するなど、地域医療の貢献に努めることができた。

第2 利用者中心のサービスの提供

新型コロナウイルス感染症予防のため利用者に対する手洗い・手指消毒の励行、外出の自粛、マスクの着用等を徹底するとともに、密閉・密集・密接のいわゆる三密の防止に配慮した。

この他、介護保険事業においては、サービスマナーの向上、看取り介護の推進と医療連携ケアの向上、リスクマネジメントの徹底、口腔機能維持・経口摂取維持の推進等を図った。また、家族の医療ニーズを確認しつつ、浴風会病院及び他の医療機関との連携を図る他、食事の提供、健康管理、衛生管理、感染症予防、機能訓練等を進めた。老人福祉事業においては、介護保険事業と同様、食事の提供、健康管理、衛生管理、感染症予防、機能訓練等を進めるとともに、利用者の要望等への的確な対応、生活環境の向上等に努めた。病院事業においては、医療安全、感染

症対策、防災対策等の安全管理を適確に推進し、また、医療相談・支援、地域連携、在宅支援を積極的に進めた。その他、利用者・患者等からのサービスに係る苦情については、各々事業部門の苦情解決責任者が迅速かつ適切な対応に努めた。

第3 専門職の連携を活かした職場づくり

① 法人の特長を活かした採用活動の実施

看護師、理学療法士、作業療法士、介護福祉士等の養成校に対して、パンフレット、求人票等を送付し、学生紹介の依頼を行った。なお、コロナ禍のため訪問依頼は行うことができなかったが、求人サイトからの採用募集、人材派遣会社の活用など、法人の特長を活かしつつ、継続的な採用活動を実施した。

② 働き方改革への的確な対応

優れた人材の確保と勤労意欲の向上を目的として行う登用試験（主として介護職契約職員の正規職員化）について、必要な免許・資格を所持している者を対象に、2回実施した。

また、職員の健康保持のため、労働時間管理の徹底及び有給休暇取得の促進を行うよう、幹部連絡会等を通じ周知徹底を図った。

③ 職員研修の充実

職員研修については、全職種を対象とした職種横断階層別「悉皆研修」をした。コロナ禍により「全体研修」及び「職員実践・研究発表会」は開催を

見合わせた。

④ 労働安全衛生の推進

職員の定期健康診断を実施する他、看護・介護スタッフの腰痛予防対策の実施、ストレッチエク制度を中心とする総合的なメンタルヘルス対策の実施など、職場における職員の労働安全衛生の推進を図った。

⑤ 障害者雇用、外国人雇用の推進

障害者雇用について法定雇用率の達成に努め、その結果、2年度は法定雇用率（2.2%）を0.53%上回る2.73%という結果となった。

外国人雇用については、関係団体とも調整して進めた結果、令和2年9月からベトナム社会主義共和国より1名、令和3年1月からミャンマー連邦共和国より4名を新たに受入れ、南陽園等介護老人福祉施設で実習勤務を行っている。

第4 着実な事業実施のための経営基盤づくり

1 堅実な財務運営基盤の形成

各事業部門において、計画利用率等の達成に向けて努力したところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた病院事業、老健事業、通所系介護保険事業等でマイナスの収支となった。また、他の施設は、設備機器の経年劣化に対応するための計画的な修繕等が必要な時期となっていることから、「中期大規模修繕計画」を作成し、今後5か年間に於ける修繕計画の基礎資料にして活用していくこととした。

令和二年度 決算報告

6 月 14 日に開催された当会理事会及び 6 月 29 日開催の定時評議員会において、令和二年度決算が以下のように承認されました。

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	2,681,137	流動負債	1,037,722
固定資産	10,598,644	固定負債	3,886,219
		負債の部合計	4,923,941
		基本金	506,033
		国庫補助金等特別積立金	4,913,643
		その他積立金	1,359,695
		次期繰越活動収支差額	1,576,469
		(当期活動収支差額)	(△ 222,026)
		純資産の部合計	8,355,840
資産の部合計	13,279,781	負債・純資産合計	13,279,781

区分	収 入 額		支 出 額		収支差額	
社 会 福 祉 事 業	養護 浴風園	474,624		474,010	614	
	軽費 松風園	348,133		347,826	307	
	軽費 ケアハウス	157,627		155,123	2,504	
	老人福祉事業計 (a)	980,384	10.3%	976,959	11.0%	3,425
	特養 南陽園	1,307,321		1,306,596	725	
	特養 第二南陽園	738,874		731,032	7,842	
	特養 第三南陽園	1,107,760		1,107,441	319	
	南陽園在宅サビセンター	39,303		39,267	36	
	第二南陽園在宅サビセンター	73,851		83,429	△ 9,578	
	グループホームひまわり	110,248		110,121	127	
ヘルパーステーション	62,839		62,833	6		
介護保険事業計 (b)	3,440,196	36.2%	3,440,719	38.8%	△ 523	
公 益 事 業	浴風会病院	3,552,942		3,015,385	537,557	
	老健くぬぎ	733,637		648,255	85,382	
	認知症介護研究研修センター	464,840		464,813	27	
	本部経常部	186,897		184,301	2,596	
	社会福祉事業合計 (c)	9,358,896	98.5%	8,730,432	98.4%	628,464
地域包括支援センター	47,217		50,346	△ 3,129		
居宅介護支援事業所	29,810		29,783	27		
よくふう保育園	37,558		39,903	△ 2,345		
ケアスクール	7,123		7,630	△ 507		
公益事業合計 (d)	121,708	1.3%	127,662	1.4%	△ 5,954	
収益事業 (e)	16,085	0.2%	13,978	0.2%	2,107	
総 計 (c+d+e)	9,496,689	100.0%	8,872,072	100.0%	624,617	

2 病院の経営基盤の安定化
 病院の経営改善を図るため、令和元年12月に立ち上げた「経営刷新チーム」により鋭意検討を進めたところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響から患者の「受診控え」が顕著となり、入院患者数、外来患者数とも前年度を下回る結果となった。なお、昨年12月よりコロナ回復期患者の積極的受入れ等により、徐々にではあるが患者数は回復傾向にある。

一方、診療報酬単価については、回復リハビリテーション病棟の上位基準の取得や各種加算の取得等により、入院、外来単価とも前年度を上回ることができた。
3 老健くぬぎの独立した経営基盤の確立
 利用率の向上による経営改善に努めたが、新型コロナウイルスの影響で利用率は前年度を下回る結果となった。特に通所リハビリテーションの利用率は、コロナ禍による「利用控え」の傾

向を受け、前年度を大幅に下回る結果となった。
 一方、介護報酬面では、これまでの施設区分「在宅強化型」から、最も高い介護報酬が適用される「超強化型」に移行することができた。(昨年10月より)
4 法人機能の充実
 平成29年の社会福祉法人制度改革を受けて、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、地域公

益事業の積極的な展開等に取り組んでいる。
 また、経営戦略等に関する合議体である経営企画会議や内部監査を担当する監査室も、所期の目的の達成に努めた。
(1) 法人組織の活性化による業績の向上
 社会福祉法人制度改革の一環として、法人本部組織の6部門(総務部、財務部、企画開発本部、事業本部、人材確保対策推進本部、地域公益活動推進本部)において、法人全体を俯瞰した調整機能の発揮、企画立案機能や広報機能の強化に取り組んだ。
(2) 経営企画会議等による諸課題の検討及び対処方針の決定
 経営企画会議、幹部連絡会議、部長連絡会議等の諸会議を通じて、経営方針等に関する意思疎通を図った。
 また、事業本部(保健衛生業務調整、栄養業務調整、相談業務調整、リハビリテーション業務調整)の取組みにより、職種別に当該業務に関する連絡調整を図り、業務の円滑化、リスク管理に努めるなどとして、現場第一線の業務向上に努めた。
(3) 広報活動等の推進
 4月より法人ホームページの全面リニューアルの運用を開始し、各種の情報を迅速、かつ適切に発信することができた。また、浴風会誌や各施設・病院が発行する広報誌を通じ、広報の徹底を図った。

浴風会の動き (4月～6月)

【本部事務局】

4月 3日「採用等辞令交付式」開催 (採用15名)

5月 21日「苦情解決委員会定例報告会」書面

6月 4日「監事による監査」実施
14日「第1回理事会」事業報告・決算、幹部人事等承認

22日「評議員選任・解任委員会」開催
29日「6月定時評議員会」開催決算及び役員
の改選について承認「第2回理事会」開催
理事長及び業務執行理事の選定について承認 (浅井)

◎幹部職員人事 (令和3年7月1日付)
【称号授与】
・名誉理事長 京極 高宣 (前理事長)

【就任】
・高齢者保健医療総合センター長 河村 博江 (当会理事)
・浴風園長 小田島 明

【採用】
・認知症介護研究・研修 家田 康典
・東京センター運営部長 平田 敏昭
・病院事務局 参事

訃報

前浴風園長・業務執行理事の小室清吾氏には、去る5月30日、病氣療養中のごころ、63歳にてご逝去になりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

浴風会ケアスクール

Caféオレンジリボンウッド

4月 1日 介護福祉士実務者研修14期生開講 (受講生24名)

6月 8日 特別区職員互助組合介護講座、予防編「介護にならないからづくり」健康寿命を延ばすとは？ (参加者39名)
23日 都立永福学園1年生職場見学 (リモート)

定期的開催しております、「よくふう語ろう会」と「Caféオレンジリボンウッド」は、新型コロナウイルスによる感染拡大予防のため、当面開催を中止とさせていただきます。

令和3年度、介護の資格講座「介護職員初任者研修」(7月27日開講・火曜日コース、10月25日開講・月曜日コース)申込みを付けております。詳細はホームページ「浴風会ケアスクールのお知らせ」からもご覧いただけます。(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

4月 1日 新園長就任 食堂にて新園長よりご挨拶。職員も新たな気持ちで、安心して日常生活が送れるよう取り組んでまいります。

7日 お花見膳 今年はお部屋や外のベンチ等でも召し上がっていただけよう、お弁当を用意しました。
22日 ビデオ会 昨年は開催できな

かったビデオ会、蜜とならないよう午前と午後の2部に分け少人数で行いました。

23日 ドミノピザより無料ピザの地域支援ドミノピザより、無料で心温かいピザをいただきました。ご利用者・職員共々おいしくいただきました。



4日～6日 菖蒲湯 浴風園浴室にて菖蒲をお湯に入れ厄除けや健康をお祈りし、入浴されました。

12日 みんなの園芸・新茶会 昼食時香り高い新茶と和菓子を召し上がりました。午後ご利用者と一緒にサツマイモの苗を植えました。

17日 新型コロナウイルスワクチン接種開始
ご利用者のコロナワクチン接種を浴風会病院にて開始しました。



9日 コーヒーデリバリー コロナ渦で、ボランティアさんが来れないため、職員が、各ダイニングまでワゴンで運び、ホットコーヒーとオレンジジュースを提供しました。とても好評でした。(徳増)

松風園 (軽費老人ホーム)

4月 10日 花見会 今年には昼食時にお花見弁当とお団子をご用意させていただきました。浴風会内で観桜を楽しみました。

5月 1日 新茶会 昼食時、茶摘娘に扮した職員が知覧茶の新茶を提供しました。

4日 菖蒲湯を実施しました。外部ヘルパーを依頼している方、当園で見守り入浴されている方、一般浴の方、皆様に菖蒲湯を楽しんでいただきました。

5日 端午の節句 食堂入口前に兜を飾りました。
※お詫びと訂正
前号で「桃の節句(ひな祭り)」についてお伝えしましたが、松風園の歴史をよくご存じの方から「あのひな人形は、当時の職員の方が購入したもの」と教えていただきました。

また「お内裏様」「お雛様」という記載について誤りであるとの指摘をいただきました。童謡「うれしいひな祭り」の歌詞「お内裏様とお雛様」という誤りが広く世に知られ、作詞者のサトウハチロー氏はこれを悔いておられたとのことです。

松風園の雛飾りは「内裏雛」の「男雛」「女雛」となります。ご指摘、ありがとうございます。誤記についてお詫びし訂正いたします。(藤原)

浴風会ケアハウス

4月 6日 お花見弁当 お弁当での提供で、お持ち帰りができるます。食事時間は3密対策で30分とさせていただきますが、大ホールも貸し切り、3密を避け、1時間ゆつくり過ごせました。

6日 端午の節句 昼食にかつおのたたきをメインとした特別メニューをご用意。



21日 グリーンカーテン準備 今年は朝顔でグリーンカーテンを作ります。寄せ植えてカラフルなお花を植えました。

26日 新茶会 新茶と和菓子をご用意。

31日 開園記念日の御祝膳 ケアハウスは25周年の節目をお祝いしました。



○「花と楽しむ」
ご利用者を中心となつて活動内容を定める会を4月から開始しました。様々なアレンジや花瓶の作成など、知恵を出し合いながら「楽しむ」会です。

○「すてきなハンドメイド」
ケアハウス前の花壇で育てたパンジーでのお作りをしました。

◆人居説明会について
感染症が流行しており、開催のめどは立っておりません。決まり次第ホームページや当会誌にてお知らせいたします。(尾滝)

◆介護保険事業
南陽園 (特別養護老人ホーム)

4月
1日、春はスタートの季節。園も新たな職員を迎え新年度がスタートしました。研修後は、それぞれの配属先での勤務が始まっています。

5月
3日〜8日「菖蒲湯」を行いました。菖蒲湯で日頃の疲れを癒し、無病息災を願いました。

5日「端午の節句」。おやつに柏餅をいただきました。

16日「新茶の会」が開かれました。新茶の甘い香りと和菓子で季節を感じていただきました。

6月
1日は、南陽園の「50回目の開園記念日」でした。利用者・家族の皆様をはじめ、地域の皆様・関係機関の皆様のご支援・ご理解のおかげと深く感謝いたします。コロナ禍で大々的なイベントはできませんでしたが、昼食に祝い膳とおやつにケーキでお祝いしました。

20日「フルーツバイキング」。綺麗に飾られたフルーツの盛り合わせの中から好きなものを選んで召し上がっていました。(丸山)

4月
こどもの日に向けて、鯉のぼりを作成しました。画用紙を丸めるのに苦労しましたが、素敵な鯉のぼりが何匹も完成しました。

南陽園在宅サービスセンター
(認知症対応型通所介護)

4月
園内散歩に行き、亀の甲羅干しや、青々とした木々を眺め良い気分転換を図りました。

5月
これから始まる暑い夏を、元気に過ごして頂けるよう、引き続き体操やレクリエーションを充実して参ります。

6月
◎見学のお申込みやお問合せは、随時受け付けております。お気軽にお問合せ下さい。

電話：03-3334-2743 (栗山)

第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

4月
21日 クッキング★カフェで「三色団子&桜風ゼリー」を作りました。

5月
3日〜5日 菖蒲湯を行いました。菖蒲の香りがあまりせず、利用者が「こうすれば香りがするわよ」と教えてくださいました。

19日 クッキング★カフェで「新じゃがポテトフライ&フルーチェアカフェ風」を作りました。

7日 「食べたいものは何ですか？」「果物が食べたいわ。果物なら何でも好き。」毎月の食事懇談会で必ずしている会話です。そんな多くの方が大好きな果物をすきなだけどうぞ。と年に一度のフルーツバイキングを開催しました。各フロア大皿盛りを2皿用意しました。施設の周りで収穫したびわとあんずも盛り合わせました



16日 クッキング★カフェで「フルーツパイ&あんず水ようかん」を作りました。

18日 一昨年まで毎月ボラティアにいられていた富士見丘中学校のみなさんがお誕生カードを作って届けてくださいました。

「今は直接お伺いして渡すことができないので」と1枚1枚心のこもった手作りです。

本日の誕生会で、園長よりご利用者にお渡しさせていただきました。(石渡)



4月
1日 うらかな春が始まりました。皆様があつたら会内のお花見に出發です。春の風を浴び、気持ちりをフレッシュする時間になりました。

5日 男の子の成長を祝う端午の節句です。お孫さんや曾孫さんの健やかな成長を祈りながらそれぞれのご家族の話で大いに盛り上がりました。

6月
14日 梅雨入り。ある方が、ご自宅のお庭に咲いていたあじさいをお持ちくださいました。珍しい薄水色の花で、皆様の注目を集めていました。また、梅雨の晴れ間が見られる日には会内のお散歩を企画しました。

現在、第二南陽園のデイサービスではご利用者を募集しております。ゆつたりと1日お過ごしいただけるデイサービスです。手芸・趣味活動に興味のある方、同世代の方々との交流をご希望の方はぜひご検討ください。ご見学のお申し込みやお問い合わせは、随時受け付けております。

電話：03-3334-2140 (隈本)

第三南陽園 (特別養護老人ホーム)

4月
1日 開園記念日。ご利用者、ご家族そして地域の皆様にご支援をいただき、19回目の開園記念日を迎えることができました。当日は地元の名店「和菓子の青柳」特製の紅白

6

6

饅頭と水羊羹を皆様に召し上がっていただきました。「今日は何の日なの?」「もうここが出来てそんなに経つからね」と皆様驚かされている姿が印象的でした。

5月 3日~5日 菖蒲湯 今年も子どもの日に合わせて菖蒲湯をご利用者の方々に楽しんでいただきました。菖蒲を入れたお湯に浸かることで、無病息災や様々な効能を得ます。「いい香りね」とご利用者の方々は入浴を楽しまれたようでした。



9日 新茶の会 今年も香りと風味が豊かな新茶の季節がやってきました。それぞれのフロアに恒例の茶娘が登場し、皆様に新茶を召し上がっていただきました。「やっぱりいつもより香りが違うわね。美味しいわ」と皆様楽しんでいました。

6月 9日 ソース選択食 今回はチキンソテーにかけるソースをジンジャー・おろしポン酢・梅の3種類からご利用者を選んでいただきました。おろしポン酢が一番人気でした!

17日 フルーツバイキング 今年も旬のフルーツを取り揃え、フルーツバイキングを行いました。好きな果物を自由に選び召し上がっていただき大好評でした!(佐々木)

グループホームひまわり

4月 1日 開園記念日 19年目を迎えることができました。お寿司と紅白饅頭でお祝いしました。

5月 3・4日 「菖蒲湯」に入って、おやつには「かしわ餅」をいただきました。レクリエーションでは新聞紙で「兜」を作り端午の節句を楽しみました。

9日 母の日 お花の宅急便とメッセーシカードが多く届きました。届いたお花やカードを見てとても喜ばれていました。



24日 6階にある畑で育てた玉ねぎを収穫しました。直径10cmはありそうな大きな玉ねぎがたくさん収穫することができました。炒め物、サラダ、スープと色々な料理に活躍してくれました。



1日 昨年11月に仕込んだ味噌が完成しました。4樽作りましたが全て成功して、お味噌汁やきゅうりにつけて食べたりと絶品でした。

24日 らっきょう漬けを行いました。「甘酢」「塩」「味噌」の3種類の味に漬け込みました。皮をむいて、根っこを切る下準備を「昔はよくやったわね」と話しながら、手際よくできていました。(谷口)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

4月 13日 たすけあいネットワーク地域連絡会開催(5月、6月は書面で開催)

5月 19日 地域ケア会議開催 (地域のネットワークづくりや自分達で出来ることを考えて行く会議です。)

6月 8日、22日、24日、29日 ゆうゆう館との協働事業開催

23日 地域の団体「上高井戸端」の総会に参加

30日 家族介護教室開催「在宅医療について」

よくふう保育園

6月

9日 未来の暮らし創造塾と浴風会の農園プロジェクトで育ったジャガイモを掘りました!



ジャガイモの収穫の様子



ジャガイモの収穫の様子



【病院事業】

浴風会病院

《新型コロナワクチン接種》



浴風会病院では、新型コロナワクチンの接種を4月15日の医療従事者向け接種から開始しました。また、杉並区から高齢者向けワクチンの配分を受け、4月19日の第二南陽園を皮切りに

会内の高齢施設利用者向けの接種を開始し、6月末の段階では、会内の施設利用者への2回の接種が概ね完了しております。

一般向けの接種は、6月7日から開始しております。接種の予約等につきましては、杉並区新型コロナワクチン接種予約サイトもしくはコールセンターで行いますので、杉並区ホームページもしくはお電話でご確認ください。

杉並区の接種予約サイト

<https://www.vaccine-info-suginami.org/>

電話: 0570-666-542

接種全般の問い合わせは、厚生労働省

新型コロナワクチンコールセンター

電話: 0120-76-1770

※新型コロナワクチンの接種予約の状況等につきましては、病院ではお答えできません。

(区民健康診査)

杉並区の区民健康診査が6月から始まりました。ご予約の上ご利用ください。(多胡)

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

4月

桜の壁飾り製作

5月 食堂から本部棟周りの桜鑑賞

節句 菖蒲を入れたお風呂に入りました。

新茶の会 おやつの時間に新茶とお茶菓子をランチヨンマット風にプリントした茶摘みの歌のシートの上に提供し、新茶を楽しみました。「いつもの

お茶と違っておいしい」ととても好評でした。

今年もカルガモがバルコニーへ舞い降りました。

6月 今年もカルガモのヒナが3羽生まれました。

10月に行われる予定の区民センター祭り参加用の作品作りに取り組みました。(森屋)

- ★入所・デイケア・ショートステイ
ご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。
- ◎03-5336-7701 (代表)
- ◎03-5336-7734 (入所)
- ◎03-5336-7704 (デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

- 4月 12日.. 東京センター運営会議 (Zoom)
- 5月 10日.. 東京センター運営会議 (Zoom)



- 13日.. 「認知症三昧! 山口塾 2021 第2回..自己決定」(Zoom) 37名受講
- 27日.. 認知症介護実践者等養成事業行 政担当者連絡会 (Zoom)

21都県市参加

- 6月 6日.. 「認知症三昧! 山口塾 2021.. 第3回」【ぐんま認知症アカデミーと共催】(Zoom)

14日.. 東京センター運営会議 (Zoom)

15日.. センター合同認知症介護実践者等養成事業情報交換会 (Zoom) 109名参加 (富島)

慶事

令和3年4月29日昭和の日に浴風会病院 佐野廣子看護部長が長年の看護に携った功績に対して、瑞宝双光章の叙勲の栄に浴されました。心よりお祝い申し上げます。

ご芳志

令和3年4月から6月多くの方々よりご芳情をいただきました。ありがとうございます。

- 〈金品・物品〉
 - 【4月】高田 敬輔様、宮沢 郁子様 三好 勝重様
 - 【5月】片山 健男様、宮沢 郁子様 読売光と愛の事業団御中
 - 【6月】白石 旭子様、杉岡 保子様 原 韶子様、宮沢 郁子様
- ほか、各施設にもいたいております。
- 《次回は発行予定令和3年10月秋季号》
〒168-8510※住所なしで届きます
機関紙「浴風会」編集部係
sounu2@yokufukai.or.jp
https://www.yokufukai.or.jp/

《役員・評議員名簿》

(令和3年6月29日付)

執行役員

理事長 **寺尾 徹**

本部事業担当業務執行理事 小川 芳弘

老人福祉事業担当業務執行理事 **小田島 明**

介護保険事業担当業務執行理事 植木 雄治

地域サービス事業担当業務執行理事 遠藤 雅晴

高齢者保健医療総合センター事業 伊藤 嘉憲

医療担当業務執行理事 山口 晴保

高齢者保健医療総合センター事業 高橋 智

事務担当業務執行理事 **宮本 智**

認知症介護研究・研修東京センター事業 担当業務執行理事 山口 晴保

理事

岡本 多喜子 (明治学院大学 名誉教授)

河村 博江 (前長寿社会開発センター 理事長)

高 武征 (杉並区社会福祉協議会 会長)

横山 彰 (日本社会事業大学 学長)

監事

岩崎 雄大 (多久島岩崎法律事務所)

矢田 宏人 (株) 福祉施設共済会 代表取締役

評議員

今井 洋 (杉並区議会議員)

岩崎 正光 (杉並区歯科医師会 杉並区歯科保健医療センター 医療連携推進本部 本部長)

宇賀神 雅彦 (杉並区副区長)

甲田 潔 (前杉並区医師会 会長)

佐藤 美穂子 (日本訪問看護財団 常務理事)

関本 紀美子 (認知症の人と家族の会 東京都支部世話人)

新田 國夫 (新田クリニック 院長)

福田 久子 (株) 北陸館 代表取締役社長)

古都 賢一 (全国社会福祉協議会 副会長)

水田 邦夫 (シルバーサービス振興会 理事長)

山崎 尚美 (日本社会事業大学 教授)

山本 秀哉 (東京都民生委員・児童委員 杉並区高井戸地区会長)

横山 宏 (東京都社会福祉協議会 副会長・常務理事)

※太字の方は新任